

[別表] ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

領域	意欲・関心	知識	技能
キャリア設計	大学院における学習及び研究の方法や内容を在学中ならびに修了後のキャリアに関連付けることができる。	各種学会や研究会に所属し多様な先行研究に触れることにより、自らの研究の意義、将来性、可能性などを把握している。	自己のライフキャリアにおいて地域社会及び国際社会に貢献するとともに、高度な専門知識を有する職業人として生活することができる。
プロフェッショナルリズム	学術研究の社会的・文化的な意義と貢献について絶えず興味を抱くとともに長期的なパースペクティブを持っている。	各種学会及び研究会などに関する情報を収集し、自らの研究の意義とそれを取り巻く学術的な環境についての確かな知見を持っている。	各種学会及び研究発表会などに参加したり自らが研究発表を行ったりすることができる。
情報収集	図書館、CiNiiをはじめとする検索エンジン、フィールドワークなどを活用して、研究課題に関する文献・資料・情報・データなどを集めようと努力することができる。	研究課題に関する文献・資料・情報・データなどについて客観的あるいは批判的な視座から考察を加えることにより、深い洞察力と判断力を獲得している。	研究課題に関する文献・資料・情報・データなどについての分析や考察の結果を、自らの研究活動に活用あるいは反映することができる。
情報分析	研究テーマに関する過去及び最新の研究についての確かつ詳細な専門知識を持つと努力することができる。	研究テーマに関する過去及び最新の研究成果についての確かつ詳細な専門知識をもっている。	収集した文献・資料・情報・データの妥当性や信頼性を判断するとともに、その内容を的確に読み解くことができる。
研究活動	指導教員と綿密な打ち合わせを行い、研究計画書に基づいて体系的かつ継続的に研究に取り組もうと努力することができる。	指導教員と綿密な打ち合わせを行い、研究計画書に基づいて体系的かつ継続的に研究に取り組むことができる。	指導教員から適切に指導を受けて、研究成果を口頭発表あるいは学術論文のかたちで発表することができる。
研究論文作成	研究論文のテーマ、内容、構成、様式などを検討することに主体的かつ積極的に取り組むことができる。	研究論文のテーマ、内容、構成、様式などを検討するのに必要な専門知識と、自らの研究課題に関連した知見を持っている。	所与の研究成果を上げるべく、研究に専念し学位論文のかたちにまとめ上げることができる。